

隣保館だより

編集 下榎隣保館 〒689-4526 日野町下榎157番地1
電話：72-1191 (FAX兼)
E-mail：rinpokan@town.hino.tottori.jp



夏休み中に さまざまな交流会を開きました

日野郡交流会 (中学生交流会)

8月9日、日野郡の地区学習会で学ぶ中学生が、活動を通してお互いの親睦を深めるために交流会を開きました。
午前中は「セルプひの」を訪問。まず、田子所長から『身近な障害を知らう』という話を聞いてから、作業場の見学をしました。参加した生徒は、一生懸命作業している姿に感動し、体験学習を通し、セルプひのについて理解を深めました。午後は、下榎集会所で昼食を作り、一緒に食べました。その後、体験学習の感想を発表し合い、一日を振り返りました。

8月4日、日南小学校学習会児童との交流会を開きました。午前中は、下榎集会所で各学校の学習会の様子を発表し、昼食のカレーライスづくりをしながら交流をしました。午後は、カヌーの里に移動し、Dオスポーツの皆さんに指導してもらってラフティングを楽しみました。
初めての体験に、最初は緊張した様子でしたが、すぐに慣れ、大きな歓声が上がりました。



ラフティング初体験

奥日野交流会 (小学生交流会)

高齢者誕生月プレゼントづくり (ひのボラネットとの交流)



一つひとつ心を込めて

8月7日、下榎集会所でひのボランティアネットワークの皆さんと“フラワーアレンジメント”を作り、カードを添えて8月生まれの対象者の高齢者にプレゼントを贈りました。当日は、38人の参加者があり、折り紙で朝顔の花を作り、協力しながら心のこもったプレゼントができました。

参加者の感想

お花のアレンジは親も子も、とても楽しくできました。オアシスにお花を刺して飾ることは、日常できないので子どもも良い経験ができました。最後にお花を届けにうかがい、大変喜ばれました。

今回、初めて子どもと一緒に参加しました。自分たちの作ったプレゼントを喜んでいただいて、子どもも嬉しかったようです。

10月中に開催します(調整中)
日程など、変更になることがあります。町民どなたでも参加できますので、気軽に参加ください。
詳しくは、下榎隣保館(電話72-1191)まで。

9月30日(木) 1回目 形作り
10月14日(木) 2回目 色塗り
10月21日(木) 3回目 作品鑑賞
クレイフラワー

陶芸

10月19日(火) 午後7時
講師 ▼ 生田清子さん
場所 ▼ 下榎集会所
材料代 ▼ 当日、ご持参ください。

10月の学習講座予定

生花(草月流)

■ 我が家の自慢展などの出展作品と演芸大会の参加者を募集しています。どうぞ奮ってご参加ください。

お知らせ

第33回

日野町解放文化祭

とき ▼ 11月6日(土) 7日(日)
ところ ▼ 下榎老人憩いの家ほか

■ 我が家の自慢展などの出展作品と演芸大会の参加者を募集しています。どうぞ奮ってご参加ください。

人間は人の愛、家族の愛で支えられている

第35回人権尊重社会を実現する鳥取県研究集会に参加

8月5・6日に米子市で開催

研究集会には、日野町から延べ53人が参加しました。

「人権尊重社会の実現に向けて、研究と実践を交流しよう」をテーマに、あらゆる差別の撤廃と、お互いの人権が尊重される人権社会をつくろうと県下2000人以上が参加しました。

第1日目の基調提案では「人権文化社会や共生社会の創造」などをテーマとして、4つの分科会に分かれ、さらに、地域や企業、学校など9つの分散会で研究することが提案されました。

ポルフィリン症という難病

特別報告では、ポルフィリン症という難病と闘っている池谷鉄平さんの報告がありました。

池谷さんは「外出には紫外線から身を守るための、全身を覆うマスクが欠かせず、人の視線が自分に向くことが大変苦痛だった。最近、マスコミに取り上げられるようになり、この病気をみんなに認識

してもらえるようになった」と話しました。現在、根本的な治療法がない中、「早く治したい」という気持ちから、「病気があっても認め合える社会づくり」が大切だと気付いたことなどを報告されました。

分科会では

2日目は9つの分散会に分かれ、学習しました。その中の第3分科会では「人権課題の解決と共生社会の実現」の取り組みを目指して話し合われました。「しよがいのある人たちへの差別、人権侵害はなぜ起こるか」をテーマに、公営住宅への入居拒否事件などから問題を考えました。

人権尊重のまちづくりに生かしたい

病氣やしよがいがあっても、お互いを認め、誰もがどんな状況になっても生きいきと暮らせる。そのような、支え、支えられるまちづくりを進めることが、日野町が目指している「人権尊重のまちづくりをしよう」につながる一人ひとりの大切な役割ではないでしょうか。



活発な意見交換が行われる

人権啓発講演会および 第35回町人権・同和 教育研究集会

とき 10月26日(火)
午後1時～午後5時

ところ 日野町文化センター

テーマ 人権尊重のまちづくりをしよう

内容

人権講演会では認知症患者の暮らしをもとに、家族や地域の支えあいを考えます。また、シンポジウムでは高齢者のさまざまな生活課題や、部落差別の無い社会づくりの事例について、話し合います。

※自治会長さんをはじめ、町民皆様のご参加をお願いします。

※詳しくは、今後、広報ひの10月号およびパンフレットなどでお知らせします。

参加者の感想 (町内参加者)

- ・講演中の言葉から、自分自身を認め自己肯定を高めることが人権尊重社会の一步につながるかと改めて感じた
- ・難病の多くは遺伝と関係ないと知り、驚いた
- ・多くの人たちの参加と、その熱気に圧倒された
- ・人間は人の愛、家族の愛で支えられているのだと改めて感じた。母、父の言葉、重いつつ
- ・改めてポルフィリン症という病氣について認識を深めることができた
- ・ユニバーサルデザインの推進の中で全盲の人がパソコンを操作し、インターネットから情報を得ていることを知り驚いた など